



町田市道路昇降機管理計画

～快適で・安全に利用できる持続可能な維持管理を実現～



策定の背景と目的

町田市では、駅の自由通路やペDESTリアンデッキ等の立体道路施設に高齢者や障がい者の移動円滑化、駅利用者の利便性向上のため、エレベーターとエスカレーターの昇降機を設置しています。

現在、市道路管理者が維持管理する昇降機はエレベーターが13基(内3基は国土交通省所管で市は管理のみ)、エスカレーターが9基有ります。

これらは、2000年代前半までに設置した施設が多く、今後10年間で更新目安である30年を超えるものは約半数となり、2030年前後には集中的に更新時期を迎え大きな財政負担が生じることになります。

そのため、定期検査の結果等を踏まえた予防保全型管理で、計画的な更新を行うことで安定した運行を確保し、効率的かつ効果的な維持管理の実施と、更新及び修繕に必要な予算の平準化を図っていくことを目的に『町田市道路昇降機管理計画』を策定します。

計画の期間と対策内容

町田市道路昇降機管理計画は、予防保全型の維持管理計画とし、費用の平準化、財政負担の軽減を考慮し年度ごとの修繕箇所、更新基数を定め、計画期間を30年とします。

なお、更新時期については、各施設の定期点検の結果を踏まえ適宜検証し、必要に応じて変更を要することから、別に策定する5ヵ年事業化計画において反映します。

POG契約は、設置当初は、故障のリスクも低く、安価に管理できるが経年や利用頻度により老朽化が進むと修繕回数も増え、費用も増加する傾向があります。また、部品調達による施設停止や交換時期の遅れによる施設運行への影響がでています。

一方、FM契約は、部位、部材の特徴に応じて交換周期を定め、点検と合せて部品交換を行い、異常が認められる際には致命的欠陥が発現する前に、速やかに対策を講じることができる予防保全型の管理です。

現在、19施設中12施設がPOG契約であり、施設更新などに併せてFM契約に移行することを前提とし予防保全型の管理を推進します。

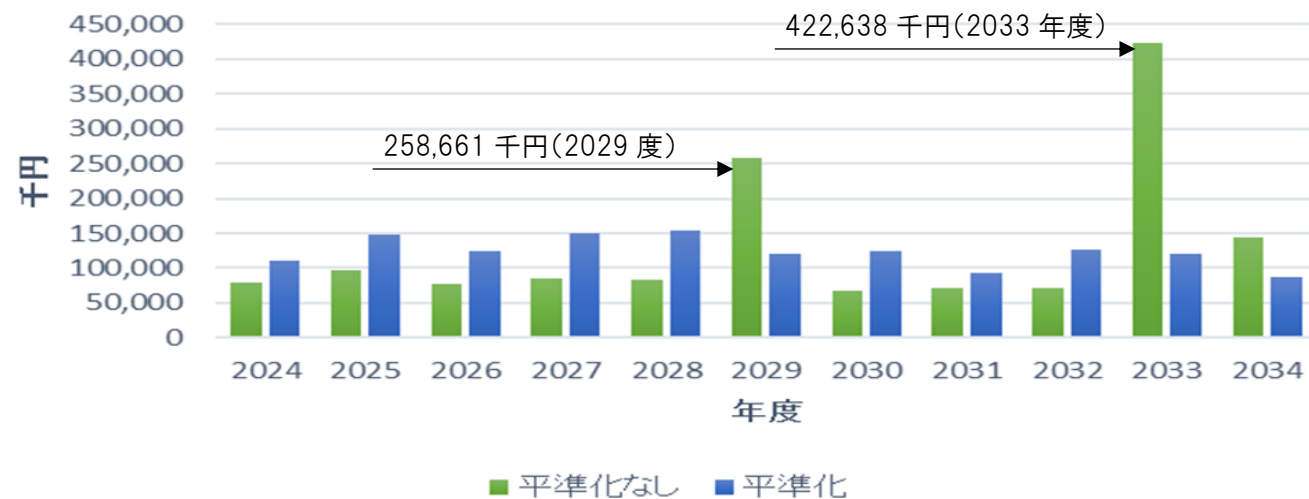
管理計画による平準化

平準化しない場合、2033年度に事業費が集中します。

POG契約：定期的な機器・装置の保守・点検のみを行う契約方式で、劣化した部品の取替えや修理等を含まないもの。

FM契約：定期的な機器・装置の保守・点検を行うことに加え、点検結果に基づく合理的な判断のもと、劣化した部品の取替えや修理等を行う契約方式

年度別事業費



道路昇降機の現状と更新予定時期(対象：19施設)

本計画の対象は、市道路管理者が管理する昇降機(エレベーター・エスカレーター)とし、南町田地下歩道のエレベーターの更新及び大規模修繕は国土交通省所有のため対象外とします。

施設の更新については費用の平準化を図り、表のとおり更新予定時期を定めます。

◆年度別事業費(2024年度～2053年度、30年間)

年度	平準化なし			平準化あり			施設名	種別
	更新費	諸経費	合計(千円)	更新費	諸経費	合計(千円)		
2024		79,221	79,221	51,700	58,557	110,257	成瀬駅南口	Ev
2025		97,007	97,007	72,177	76,781	148,958	JR町田駅南口下り	Es
2026		77,398	77,398	71,500	53,027	124,527	成瀬駅南口上り	Es
2027		85,320	85,320	71,500	79,279	150,779	相原駅自由通路東口	Es
2028		82,314	82,314	71,500	81,632	153,132	相原駅自由通路西口	Es
2029	195,377	63,284	258,661	56,630	64,540	121,170	相原駅自由通路東口	Ev
2030		68,397	68,397	56,630	67,005	123,635	相原駅自由通路西口	Ev
2031		70,990	70,990	24,000	68,767	92,767	町田バスセンター 上り	Es
2032		71,704	71,704	56,630	70,701	127,331	町田駅3号ペDESTリアンデッキ	Ev
2033	360,890	61,748	422,638	56,630	63,752	120,382	町田バスセンター	Ev
2034	80,630	63,419	144,049	24,000	63,025	87,025	町田駅3号ペDESTリアンデッキ上り	Es
2035		62,801	62,801	24,000	61,565	85,565	町田駅3号ペDESTリアンデッキ下り	Es
2036		68,995	68,995		71,998	71,998		
2037		65,847	65,847		68,398	68,398		
2038		64,615	64,615		73,031	73,031		
2039		60,781	60,781	56,630	67,038	123,668	町田地下歩道 北	Ev
2040	113,260	67,979	181,239	56,630	67,038	123,668	町田地下歩道 南	Ev
2041		63,791	63,791		66,510	66,510		
2042		64,535	64,535	24,000	67,533	91,533	JR町田駅南口上り	Es
2043	80,630	75,254	155,884	56,630	71,015	127,645	町田バスセンター西1号デッキ	Ev
2044		71,025	71,025		71,098	71,098		
2045		64,528	64,528		67,038	67,038		
2046	24,000	60,904	84,904	24,000	71,463	95,463	町田バスセンター 下り	Es
2047	56,630	97,446	154,076	56,630	70,603	127,233	多摩境駅駅前広場	Ev
2048		74,970	74,970		69,430	69,430		
2049		62,967	62,967		67,988	67,988		
2050		63,130	63,130		61,977	61,977		
2051	56,630	62,801	119,431	56,630	63,831	120,461	玉川学園前駅デッキ	Ev
2052		69,059	69,059		63,668	63,668		
2053		65,791	65,791		72,948	72,948		
合計	968,047	2,108,022	3,076,069	968,047	2,041,235	3,009,282		

管理計画による効果

更新時期の平準化によって、老朽化による修繕費が削減できるため事業費が66,787千円減少します。

年度別累計事業費

